

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第4項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2021年5月18日

【四半期会計期間】 第20期第1四半期（自 2021年1月1日 至 2021年3月31日）

【会社名】 株式会社メドレックス

【英訳名】 Medrx Co., Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 松村 米浩

【本店の所在の場所】 香川県東かがわ市西山431番地7

【電話番号】 0879 - 23 - 3071

【事務連絡者氏名】 取締役経営管理部長 藤岡 健

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区日本橋浜町二丁目35番7号

【電話番号】 03 - 3664-9665

【事務連絡者氏名】 取締役経営管理部長 藤岡 健

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

2021年5月14日に提出いたしました第20期第1四半期（自 2021年1月1日 至 2021年3月31日）四半期報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第3 提出会社の状況

1 株式等の状況

(4)発行済株式総数、資本金等の推移

3 【訂正箇所】

訂正箇所は_____を示して表示しております。

第一部【企業情報】

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

(訂正前)

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2021年1月1日～ 2021年3月31日 (注)	260,000	19,695,100	24,960	7,401,590	24,960	6,970,790

(注) 行使価額修正条項付第17回新株予約権(行使指定条項付)の権利行使による増加であります。

(訂正後)

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2021年1月1日～ 2021年3月31日 (注1)	260,000	19,695,100	24,960	7,401,590	24,960	6,970,790

(注) 1. 行使価額修正条項付第17回新株予約権(行使指定条項付)の権利行使による増加であります。

2. 2020年7月28日に提出いたしました有価証券届出書(2020年8月6日に提出いたしました訂正届出書に

より訂正済)に記載した新株式及び行使価額修正条項付第17回新株予約権(行使指定条項付)の発行により調達した資金の使途について、以下の重要な変更が生じております。

手取金の使途及び支出予定時期の変更

(1) 変更の理由、経緯

当社は、2020年7月28日に公表いたしました「第三者割当による新株式の発行及び行使価額修正条項付第17回新株予約権(行使指定条項付)の発行に関するお知らせ」に記載しておりますように、マイクロニードル治験薬工場に関する増強設備投資：病原性のある細菌やウイルス、遺伝子組み換え生物等の使用に向けて「拡散防止等のバイオセーフティ対策」を中心とした設備増強、MRX-9FLT：中枢性鎮痛貼付剤(フェンタニルテープ剤)開発における「誤用事故防止機能」ラベル獲得のための試験費用、及びMRX-5LBT：带状疱疹後の神経疼痛治療薬(リドカインテープ剤)の欧州における開発費用のための資金の確保を目的として、第三者割当による新株式及び行使価額修正条項付第17回新株予約権(行使指定条項付)を発行して資金調達を行いました。

第三者割当による新株式については、1株につき296円で発行され当初の予定通り200百万円を獲得できました。一方、行使価額修正条項付第17回新株予約権(行使指定条項付)については、東京証券取引所における当社普通株式の普通取引の終値が当初行使価額(296円)を下回って推移したため、実際の資金調達額が当初の調達予定額929百万円を202百万円下回る727百万円(差引手取額)となりました。

一方で、マイクロニードル治験薬工場に関する増強設備投資：病原性のある細菌やウイルス、遺伝子組み換え生物等の使用に向けて「拡散防止等のバイオセーフティ対策」を中心とした設備増強については、資金計画の見直しやソフトウェア導入等の対応によって、予定していた480百万円から大幅に削減することに成功し、実際の充当額は132百万円に留まりました。ただし、資金計画の見直しやソフトウェア導入等の対応に時間を要したことから、支出時期を当初の「2020年8月～2020年12月」から「2020年8月～2021年3月」に変更いたしました。また、MRX-9FLT：中枢性鎮痛貼付剤(フェンタニルテープ剤)開発における「誤用事故防止機能」ラベル獲得のための試験費用の金額は当初の見積りよりも大きくなりました。それに伴い、増加金額を含めてあらためて資金計画を見直した結果、支出時期も当初の「2021年1月～2021年6月」から「2021年1月～12月」に変更いたしました。

その結果、第三者割当による新株式で調達した200百万円及び行使価額修正条項付第17回新株予約権(行使指定条項付)で調達した727百万円の合計である927百万円から、の実際充当額である132百万円を控除した残額795百万円については、必要金額が当初の見積りよりも大きくなったMRX-9FLT：中枢性鎮痛貼付剤(フェンタニルテープ剤)開発における「誤用事故防止機能」ラベル獲得のための試験費用に全額充当し、MRX-5LBT：带状疱疹後の神経疼痛治療薬(リドカインテープ剤)の欧州における開発費用については充当することを取りやめることといたしました。

(2) 変更の内容

(変更前)

具体的な使途	金額 (百万円)	支出予定時期
マイクロニードル治験薬工場に関する増強設備投資：病原性のある細菌やウイルス、遺伝子組み換え生物等の使用に向けて「拡散防止等のバイオセーフティ対策」を中心とした設備増強	480	2020年8月～ 2020年12月
MRX-9FLT：中枢性鎮痛貼付剤(フェンタニルテープ剤)開発における「誤用事故防止機能」ラベル獲得のための試験費用	418	2021年1月～ 2021年6月
MRX-5LBT：帯状疱疹後の神経疼痛治療薬(リドカインテープ剤)の欧州における開発費用	220	2021年1月～ 2021年12月
合計	1,118	

(変更後)

具体的な使途	金額 (百万円)	支出予定時期
マイクロニードル治験薬工場に関する増強設備投資：病原性のある細菌やウイルス、遺伝子組み換え生物等の使用に向けて「拡散防止等のバイオセーフティ対策」を中心とした設備増強	132	2020年8月～ 2021年3月
MRX-9FLT：中枢性鎮痛貼付剤(フェンタニルテープ剤)開発における「誤用事故防止機能」ラベル獲得のための試験費用	795	2021年1月～ 2021年12月
MRX-5LBT：帯状疱疹後の神経疼痛治療薬(リドカインテープ剤)の欧州における開発費用	—	2021年1月～ 2021年12月
合計	927	

